

3. 教育関係

(1) 大学院設置基準及び大学設置基準（専任教員数）の比較（大学・大学院）

(表 2)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	設置基準上必要専任教員数			TDU		
				研究指導教員数 うち教授数	研究指導 補助教員	研究指導教員数 うち教授数	研究指導 補助教員		
先端科学技術研究科 (博士課程(後期))	数理学専攻	3	9	4	3	3	11	10	2
	電気電子システム工学専攻	5	15	4	3	3	20	18	4
	情報通信メディア工学専攻	5	15	4	3	3	34	30	3
	機械システム工学専攻	5	15	4	3	3	19	16	4
	建築・建設環境工学専攻	3	9	4	3	3	20	15	2
	物質生命理工学専攻	3	9	4	3	3	16	12	3
	先端技術創成専攻	5	15	4	3	3	20	13	4
	情報学専攻	3	9	4	3	3	6	6	4
計		32	96	32	24	24	146	120	26
未来科学研究科 (修士課程)	建築学専攻	60	120	9	6	3	15	8	1
	情報メディア学専攻	35	70	5	4	3	15	13	0
	ロボット・メカトロニクス学専攻	※150	90	6	4	3	11	7	0
計		145	290	20	14	9	41	28	1
工学研究科 (修士課程)	電気電子工学専攻	60	120	9	6	3	23	21	2
	物質工学専攻	25	50	4	3	3	12	9	2
	機械工学専攻	55	110	8	6	3	23	22	2
	情報通信工学専攻	30	60	5	4	3	9	8	1
計		170	340	46	19	12	67	60	7
理工学研究科 (修士課程)	理学専攻	15	30	4	3	3	10	8	10
	生命理工学専攻	25	50	4	3	3	8	7	1
	情報学専攻	35	70	5	4	3	14	11	5
	電子・機械工学専攻	35	70	5	4	3	13	6	5
	建築・都市環境学専攻	12	24	4	3	3	9	8	0
計		122	244	22	17	15	54	40	21
情報環境学研究科 (修士課程)	情報環境学専攻	40	80	6	4	3	28	22	4
計		40	80	6	4	3	28	22	4

※1 未来科学研究科ロボット・メカトロニクス学専攻は、2014（平成26）年度より入学定員40名→50名に増員

(表 3)

学部	学科	入学定員	収容定員	専任教員数		
				別表1	別表2	TDU
未来科学学部	建築学科	100	400	9	17	18
	情報メディア学科	125	500	10		18
	ロボット・メカトロニクス学科	125	500	10		16
未来科学学部 共通教育	人間科学系列	—	—	—	—	6
	英語系列	—	—	—	—	6
	数学系列	—	—	—	—	5
	物理系列	—	—	—	—	1
計		350	1400	29	17	70
工学部	電気電子工学科	210	840	12	25	26
	環境化学科	80	320	8		13
	機械工学科	210	840	12		24
	情報通信工学科	110	440	9		11
工学部 共通教育	人間科学系列	—	—	—	—	8
	英語系列	—	—	—	—	8
	数学系列	—	—	—	—	8
	物理系列	—	—	—	—	7
計		610	2440	41	25	105
理工学部	理工学科	600	2400	29	24	85
理工学部 共通教育	共通教育群	—	—	—	—	27
計		600	2400	29	24	112

情報環境学部	情報環境学科	240	**2990	19	14	47
計		240	990	19	14	47
工学部第二部	電気電子工学科	50	200	3	4	5
	機械工学科	50	200	3		3
	情報通信工学科	50	200	3		4
工学部第二部 共通教育	人間科学系列	—	—	—	—	2
	英語系列	—	—	—	—	1
	数学系列	—	—	—	—	1
	物理系列	—	—	—	—	0
計		150	600	9	4	16

大学院設置基準第9条別表第一及び別表第三、大学設置基準第13条別表第一及び別表第二に基づく、本学の専任教員数（2014（平成26）年度5月1日現在）については、上表のとおり、各学部・学科等、研究科・専攻等において必要専任教員数を満足している。

(2) ST比（学生、教員比）

本学におけるST比については、下表のとおりである。（昼間学部のみ）

【平成26年5月1日付 現在】

（表4）

学部	在籍者数	専任教員数 (助手除く)	ST比 (小数点第2位四捨五入)
未来科学部	1,615名	70名	23.1
工学部	2,908名	104名	28.0
理工学部	2,814名	111名	25.4
情報環境学部	1,162名	47名	24.7
合計	8,499名	332名	25.6

本学では大学設置基準における必要最低教員数を満たし、より良い教育を実践するために必要な教員数を設定する制度として、学生の入学定員及び収容定員数に基づいた「教員要員定員率」を定めている。

これは、各学部の教授及び准教授の定員率を「昼間学部の入学定員数×4年／30名（夜間学部は60名）」としている。

この他、前述の「教員要員定員率」に基づき収容定員に応じたポイント制度を設定し、このポイントを活用して、任期付教員として多くの講師、助教、助手を採用している。

これにより、「学生30名に対し教員1名」の数値を上回るST比を実現しており、少人数教育、アクティブラーニング等のきめ細やかな教育を実現している。

(3) 教員年齢構成

大学全体から見る教員年齢構成については、大学データ集 表2のとおりであり、全教員の年齢構成を世代別に見ると表5となる。（平成26年5月1日現在）また、比較参考として、「文部科学省 平成25年度学校教員統計調査」を示す。

(表中では「統計調査」と称する)

【教員年齢構成】

(表 5)

	26歳 ～30歳	31歳 ～40歳	41歳 ～50歳	51歳 ～60歳	61歳 ～70歳
TDU専任教員数	4名	73名	105名	81名	95名
年代別割合	1.1%	20.4%	29.3%	22.7%	26.5%
統計調査の割合	2.5%	22.2%	29.3%	26.8%	19.2%

※TDU専任教員数においては、大学(1名)、学長室(1名)、研究推進社会連携センター(1名)所属の教授、各学部の助手(計4名)を除いている。

上表から、本学においては国内大学の平均の教員年齢構成と比し高年齢化が生じていることが分かる。この教員年齢高齢化については、2015(平成26)年度の理工学研究科電子・機械工学専攻及び同研究科建築・都市環境学専攻における履行状況報告書に対して、文部科学省より両専攻に対する専任教員の高齢化について指摘(改善意見)がなされた。

この文部科学省からの意見及び高齢者雇用安定法等に鑑み、2016(平成28)年度より、従来の教員の60歳定年・70歳までの嘱託延長から65歳定年へと制度変更を行い、改善の対応を図った。

(4) 専任教員の比率

大学データ集 表5のとおり、各学部・学科等における専任教員の比率については、専門教育が70%以上、教養教育が概ね70%前後の割合であり、専任教員による教育が十分に行き届いている。

また、情報環境学部においては、専門教育が88%でありほとんどの教育が専任教員によって実践されているものの、教養教育は40%前後であり、非常勤教員の割合が高い。なお、学園中長期計画の一環として、2018(平成30)年度には情報環境学部は東京千住キャンパスに移転を行うこととしており、共通(教養)教育についても、東京千住キャンパスにある未来科学部、工学部、工学部第二部と共通して実施することで、教養教育における専任教員の割合も改善される見通しである。

なお、工学部第二部(夜間)においては、その開講時間帯等の運用面から、昼間学部と比し、専門教育が概ね65%前後、教養教育が概ね57%となり、非常勤教員の割合が比較的高くなっている。

この工学部第二部についても、2018(平成30)年度に改編計画を予定しており、教学体制の見直し、社会人学生の学び直しの推進等を進めていく。

(5) 卒業率

2014（平成26）年度における卒業率は、表6、表7のとおり。（学校法人東京電機大学法人概況を基に作成）

【大学（学部）】

（表6）

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	上段:H24卒業者	卒業率	上段:H25卒業者	卒業率	上段:H26卒業者	卒業率
	下段:H21入学者		下段:H22入学者		下段:H23入学者	
工学部	572	82.9%	662	95.0%	557	87.9%
	690		697		634	
工学部第二部	117	74.5%	134	64.4%	121	73.3%
	157		208		165	
理工学部	659	91.7%	602	85.3%	582	84.2%
	719		706		691	
情報環境学部	221	82.5%	225	77.9%	234	91.8%
	268		289		255	
未来科学部	352	88.0%	298	76.6%	336	92.6%
	400		389		363	

※上表の上段記載の卒業者は、当該年度卒業者の数値であり、留年者等の卒業者も含まれる。

【大学院（研究科）※修士課程のみ（博士課程（後期）除く）】

（表7）

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	上段:H24修了者	修了率	上段:H25修了者	修了率	上段:H26修了者	修了率
	下段:H23入学者		下段:H24入学者		下段:H25入学者	
工学研究科	159	93.0%	146	90.7%	152	98.1%
	171		161		155	
理工学研究科	139	94.6%	117	98.3%	102	95.3%
	147		119		107	
情報環境学研究科	36	90.0%	25	80.6%	29	87.9%
	40		31		33	
未来科学研究科	157	95.2%	139	92.7%	150	92.0%
	165		150		163	

※上表の上段記載の修了者は、当該年度卒業者の数値であり、留年者等の修了者も含まれる。

学部間において比較してみると、概ね差異は見受けられないが、工学部第二部（夜間部）においては、昼間部と比して数値が下回っている。これは社会人学生が多く在籍することに起因している。

また、他の学部も含め、この留年率を出来る限り減少させる取組みとして、基礎学力の低い学生に対するサポート体制として設置している学習サポートセンターの充実、本学専任教員がアドバイスする学生アドバイザーによる面談指導等の強化を図っている。さらに心理面のサポートとして、学生相談室体制の充実、学費支弁に係る金銭面のサポートとして、給付奨学金創設の検討を行っている。

(6) 学生満足度

学生満足度調査として、毎年度大学院修了式・大学卒業式において修了生・卒業生を対象としたアンケート（以下、卒業式アンケートという）調査を実施しており、その経年変化を追跡し、より学生満足度を高める改善の施策に繋げている。

2014（平成 26）年度卒業式アンケートにおける調査結果に基づく、概ね教育に関する事項、就職に関する事項については、満足度が高い結果となった。

【学部別 調査報告 ※平成 26 年度卒業式アンケート抜粋】 (表 8)

	回収数	回収率	就職率	本学院進学率	進路未決定率	学校施設・設備全体として	キャンパスライフ全体として	共通教育科目授業全体として	専門教育科目など(講義科目)全体として	専門教育科目(実験・実習)全体として	卒業研究全体として	授業全体として	就職活動全体として	項目1~8平均
未来科学部	298	91%	90.2%	43.3%	2.1%	70.8	73.5	71.2	71.4	74.7	79.6	74.7	71.7	73.5
工学部	453	82%	89.6%	23.4%	4.2%	73.8	76.5	75.7	75.9	77.6	80.9	78.4	75.4	76.8
理工学部	543	95%	87.4%	15.5%	6.2%	65.3	70.3	73.0	72.4	71.6	78.0	73.4	73.8	72.2
情報環境学部	173	81%	77.0%	11.3%	5.2%	70.0	70.8	73.2	73.6	74.2	82.3	76.2	77.5	74.7

※本表は記入なしを除き、「大変不満～大変満足」の6段階を100点満点に換算して表示しているため、数値が高ければ高いほど満足度が高いこととなる。

一方で、学部間における改善事項（学生厚生施設（食堂や喫茶）、事務窓口他）具体に抽出されている。

この卒業式アンケートは、大学の協議機関である学部長会をはじめ、各学部教授会等、各種会議において報告を行い、構成員一同で情報共有し、課題を認識し、抽出された改善事項について改善に結び付けている。